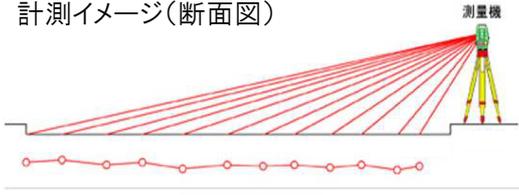
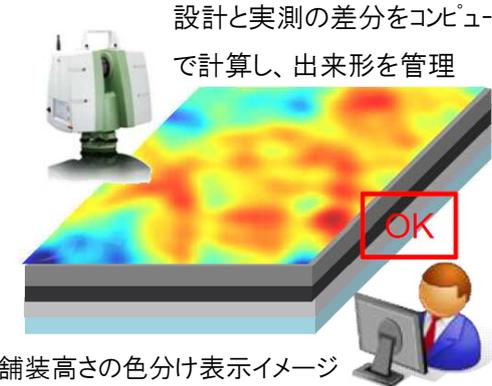


表一：従来工法とICT 舗装工法の比較表

	従来工法	ICT 舗装の試行工法	試行結果
①事前測量	<p>・人手による事前の測量(水系法)</p> 	<p>・レーザースカナによる事前測量 計測イメージ(断面図)</p>  <p>図：国土交通省 HP より</p>	<p>・路上での測量行為が削減</p>
③施工	<p>・人手による建設機械の操縦 アスファルトフィニッシャ</p> 	<p>・3次元データによる建設機械の自動制御 ICT アスファルトフィニッシャ</p>  <p>写真：工事受注者提供 トータルステーションを用いた機械制御</p>	<p>・建設機械は、自動制御により問題なく稼働することを確認</p>
④出来形管理	<p>・人手による舗装厚さや幅員等の測定</p> 	<p>・レーザースカナによる出来形検査の省力化 設計と実測の差分をコンピュータで計算し、出来形を管理</p>  <p>舗装高さの色分け表示イメージ 例)高い：赤色、低い：青色</p> <p>発注者</p> <p>図：国土交通省 HP より</p>	<p>・路上での測量および検査の行為が削減</p> <p>・測定結果を現場でデータ化することができるため、資料作成等の内業が削減</p>